

関東天然瓦斯開発(株)決算説明会

(平成20年3月5日開催)

第146期期末

平成19年1月～12月



本日の内容

1. 経営方針・経営計画
2. グループの概要
3. 連結決算
4. 個別決算

グループ経営理念・経営方針

グループ経営理念

天然ガスの生産と販売を中核に、
快適で豊かな生活の実現と社会の発展に貢献する

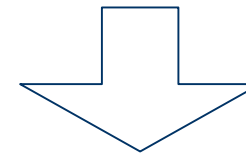
グループ経営方針

- ・ コンプライアンスの遵守
- ・ 環境との調和、品質と安全の確保
- ・ お客様満足の追求
- ・ 企業価値の向上
- ・ チャレンジする職場風土の実現

8つの重点戦略

- 1 販売
- 2 安定供給
- 3 開発・生産・購入
- 4 保安・安全・環境対応
- 5 収益改善
- 6 人材育成・技術力向上
- 7 トータルリスク管理
- 8 周辺新規事業

各項目をブレイクダウンした個別戦略を策定し、
グループ一丸となって取り組む



業績向上に努めると共に、
公共的使命を着実に果たし、
社会的信頼に応える

今後の展開 : ガス事業

< 外部環境 >

- ・エネルギー高価格化時代の到来
 - … 国産天然ガスの価格優位性の向上
 - … 他ガス源の仕入を始めとした費用面への影響
- ・エネルギーマーケットの変化
 - … 産業用・業務用分野における環境優位性の高い天然ガスへの転換
 - … 家庭用分野におけるオール電化住宅の攻勢

< 今後の取り組み >

- ・長期的かつ安定的な供給が可能な国産天然ガスの優位性を活用する事業展開
- ・千葉県産天然ガスを中心に、BOGやオフガス、LNGなどの多様なガス源を、需要に応じてベストミックスし、新規の需要を開拓・拡販

今後の展開 : ガス事業-2

パイプラインネットワークの整備

< 概要 >

- ・袖ヶ浦臨海ライン(BOG受入のパイプライン、平成18年11月完成)と、当社グループ既存ネットワークを接続

< 今後の展開 >

- ・将来の都市ガス需要増に対し、更なる安定供給が実現
- ・新規大口需要等に対しても、これまで以上に積極的な対応が可能
- ・BOGには受入の量的制約がほとんどなく、季節や時間帯による負荷変動への対応が、従来以上に可能となる

パイプラインネットワーク イメージ図



今後の展開 : ヨード・かん水事業

< 外部環境 >

- ・需要が国際的に拡大基調
- ・製品開発研究においては、概ね欧米が先行
- ・偏光フィルム(液晶ディスプレイの部材)関連技術は日本が先行

< 今後の取り組み >

- ・生産体制の合理化と供給力の向上・・・同業他社との連携強化
- ・新規利用分野の開拓や高付加価値化を目指した研究開発活動

日本天然ガス株式会社の子会社化

〔会社の概要〕

- ・商号：日本天然ガス株式会社
- ・本社：東京都中央区日本橋本町四丁目15番11号
- ・事業内容：天然ガスの採取・販売
ヨード、ヨード化合物の製造・販売
- ・業績：売上高 28億73百万円（平成19年3月期）
経常利益 4億91百万円（同上）
当期純利益 2億98百万円（同上）



〔株式取得概要〕

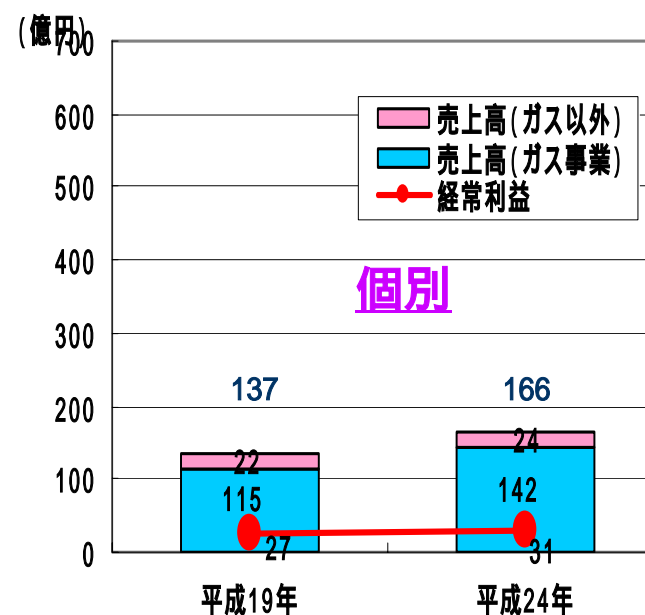
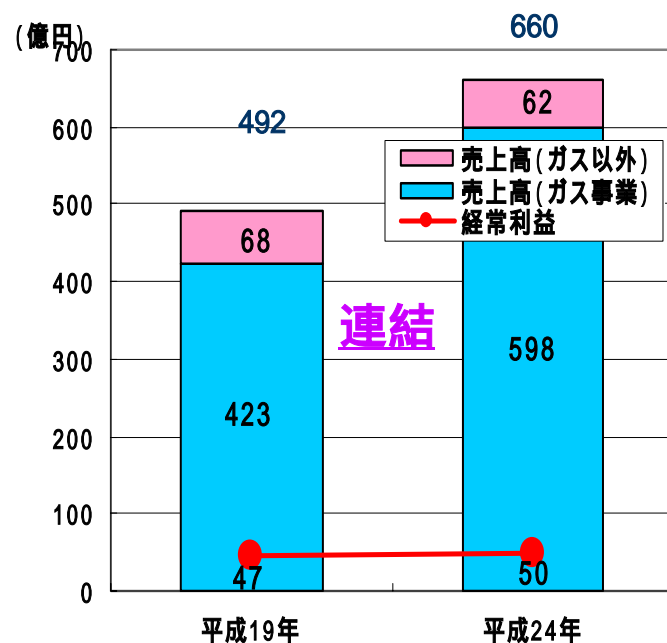
- ・取得日：平成19年4月10日
- ・取得状況：異動前2,980千株（49.66%、持分法適用関連会社）

異動後3,100千株（51.66%、連結子会社）

〔子会社化の効果等〕

- ・当社事業との更なる一体運営により、グループ全体の業績向上をはかる

平成24年の収支見通し



H24(2012)見通し

連結売上高 660億円 (H19比 34.1%増)
連結経常利益 50億円 (H19比 4.7%増)
連結設備投資 5年間で225億円
連結ガス販売量 13.0億m³

個別売上高 166億円 (H19比20.7%増)
個別経常利益 31億円 (H19比12.7%増)
個別設備投資 5年間で105億円
個別ガス販売量 3.6億m³

配当政策

【基本方針】

長期的な安定配当と内部留保の充実

- ・景気変動に左右されにくい収益構造
- ・資源の安定供給のための内部留保の重要性
- ・内部留保資金は生産・輸送設備等への投資や採取技術の研究開発に充当

【19年配当】

年10円/株の配当を予定

- ・8月17日の取締役会で5円/株の中間配当を決議

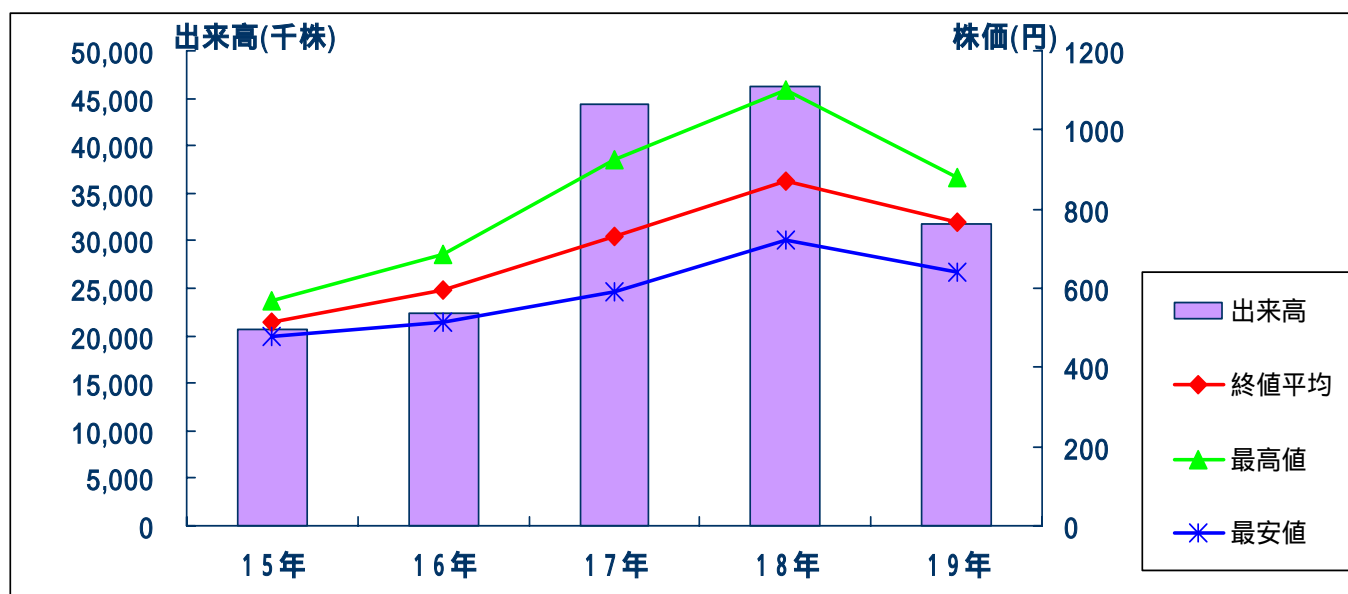
【20年配当】

19年と同様、年10円/株(中間・期末ともに5円/株)を予定

【連結1株当たり当期純利益 / 連結配当性向】

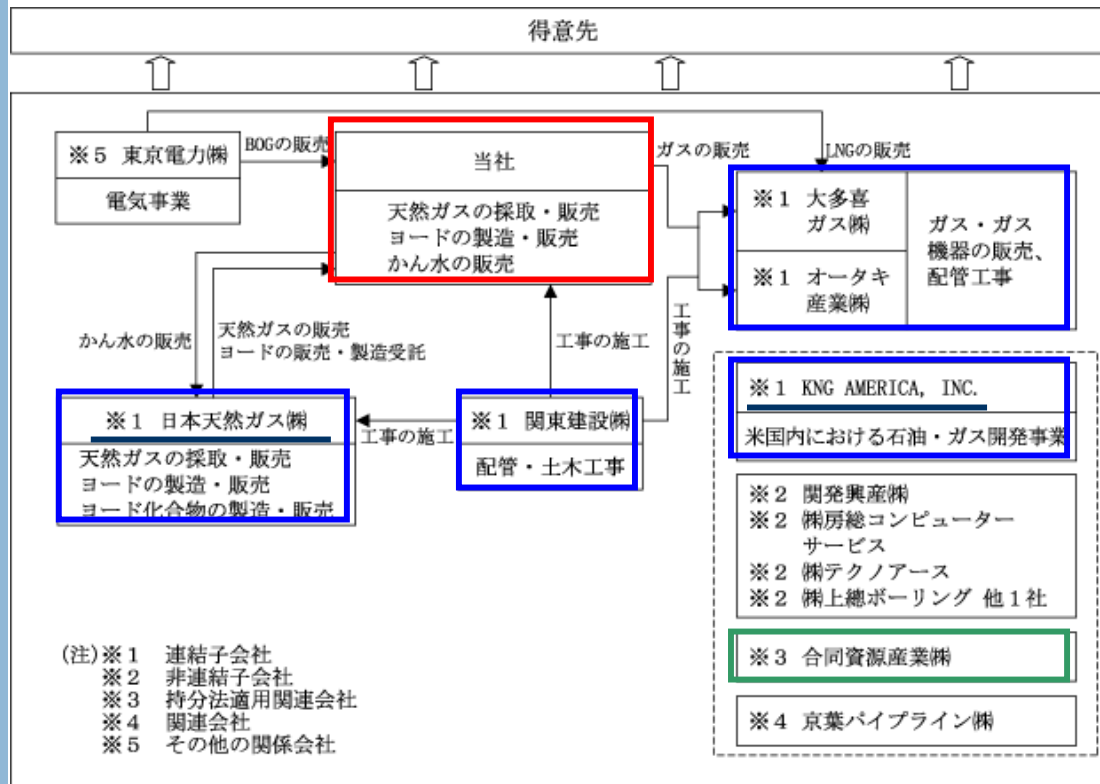
17年	29.27円	34.2%	(従来の普通配当の年7円/株に加え、3円/株の創業75周年記念配当を実施)
18年	39.46円	25.3%	(年10円/株の普通配当を実施)
19年	43.39円	23.0%	
20年予想	42.28円	23.7%	

参考：株価および出来高の推移



	15年(2003)	16年(2004)	17年(2005)	18年(2006)	19年(2007)
最高値	567	684	925	1,099	(2/26) 879
最安値	476	513	591	722	(12/28) 641
終値平均	513	594	732	869	766
出来高	20,698	22,301	44,276	46,199	31,843

関東天然瓦斯開発(株)グループ



当連結会計年度内における異動
連結子会社が2社増加

KNG AMERICA
(従来は非連結子会社)

日本天然ガス
(従来は持分法適用関連会社)

持分法適用関連会社が1社増加
合同資源産業

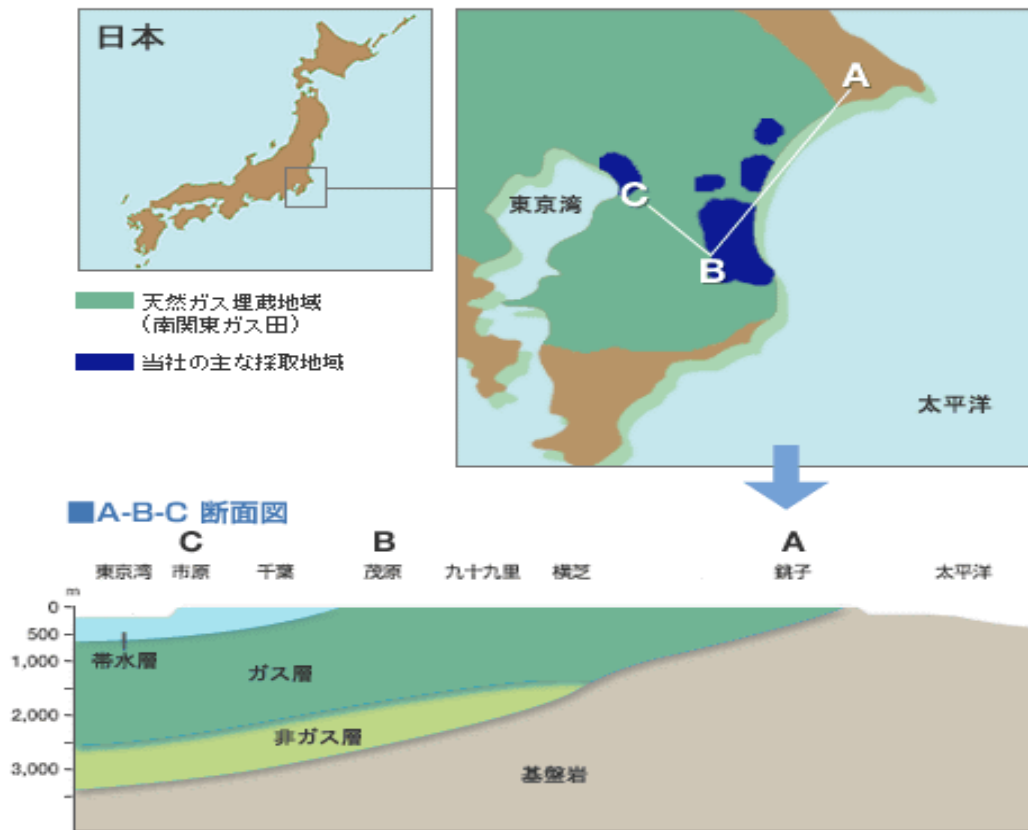
各社の事業展開(セグメント別)

(グループ各社) (セグメント)	関東天然瓦斯開発	大多喜ガス	オータキ産業	関東建設	日本天然ガス	KNG - A
ガス事業	天然ガスほか	都市ガス	圧縮天然ガス・LPG		天然ガス	
ヨード・かん水事業	ヨード かん水				ヨード・ヨード化合物	
建設事業		ガス工事	ガス工事	土木建設		
その他の事業		ガス機器販売	ガス機器販売		化学品	米国石油・ガス開発事業

非連結子会社・関連会社は除く

ガス ~ グループ内で上流から下流まで一貫したサービスを提供

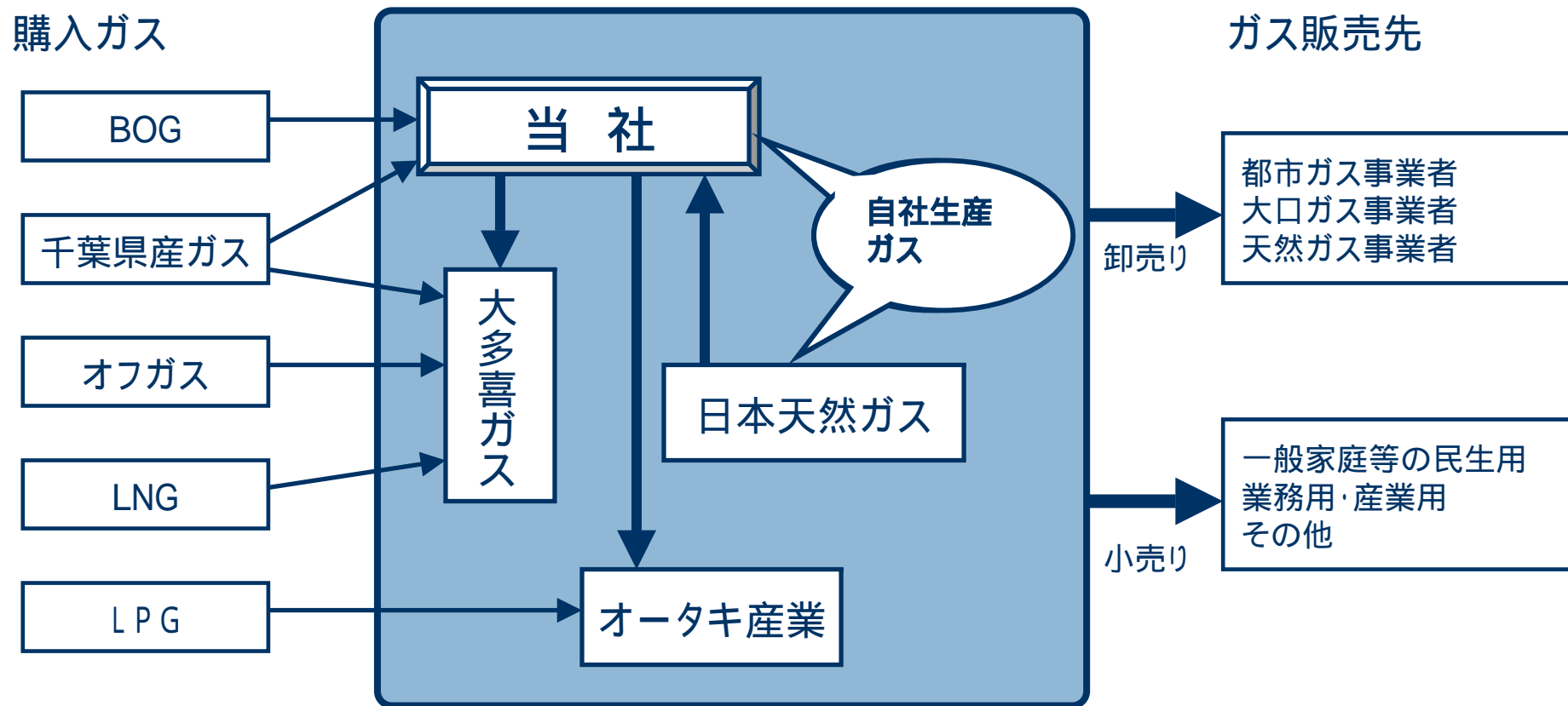
関東天然瓦斯開発の主な採取地域



大多喜ガスの供給区域

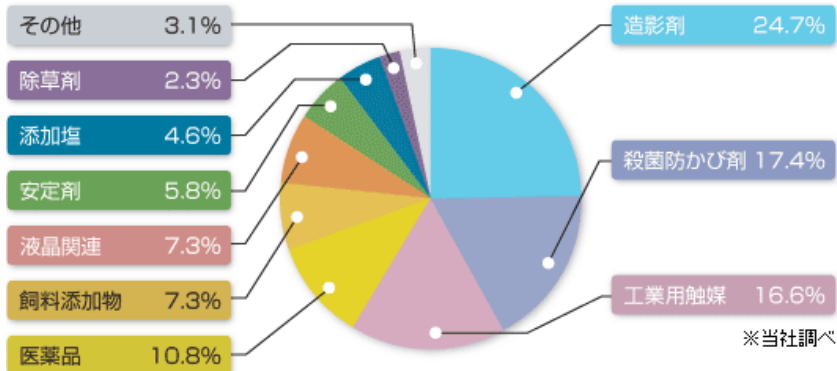


グループガス事業相関図



ヨード ~ ガス採取後のかん水からの貴重な資源

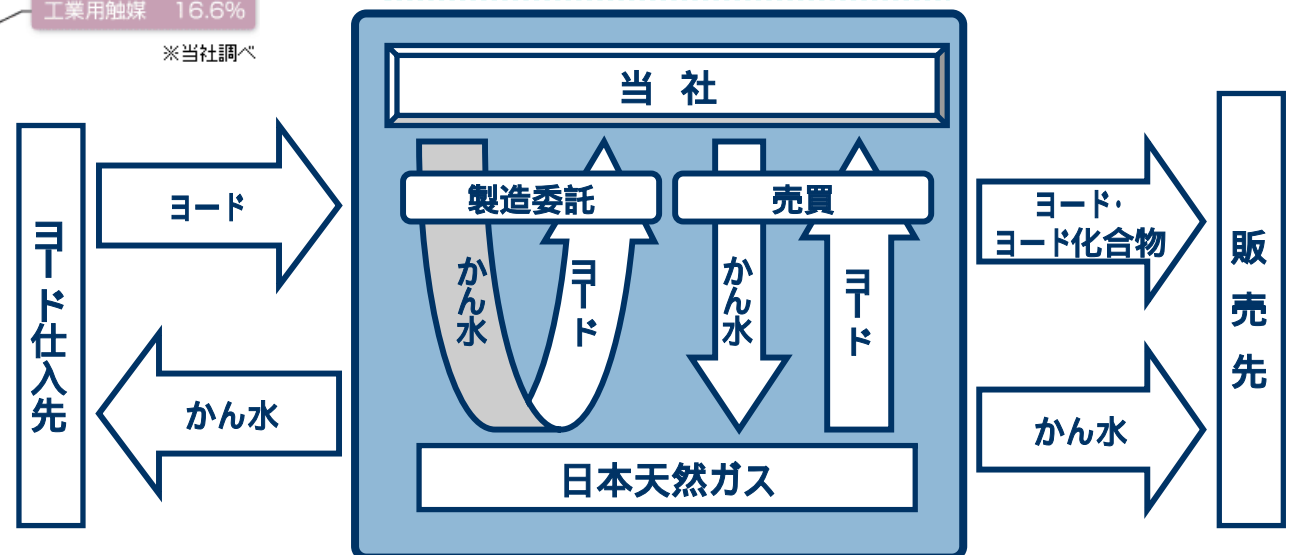
世界の用途別ヨード需要 (2006年)



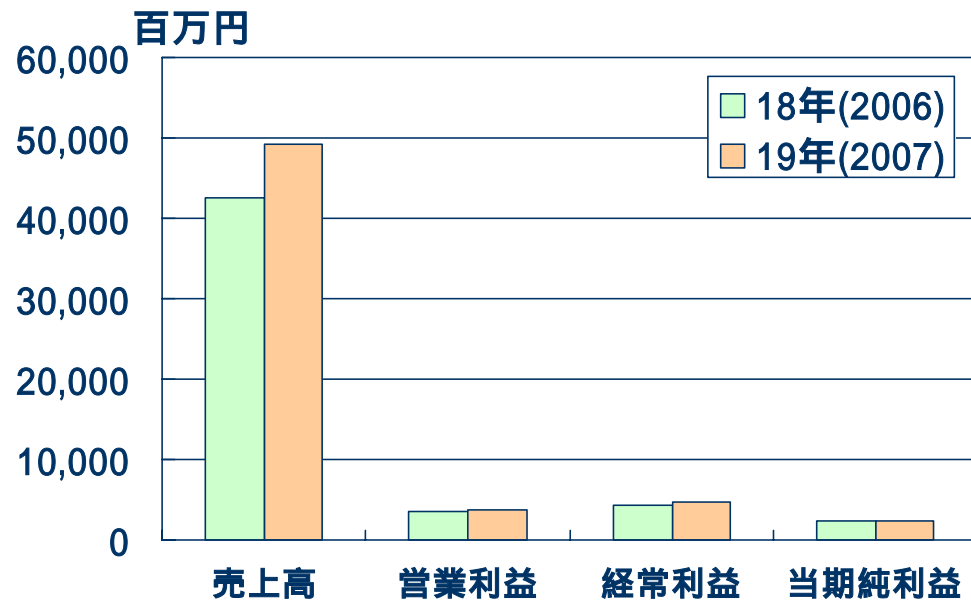
精製ヨード

日本は世界生産量の約3割
千葉県ではそのうち約8割を生産

グループ ヨード・かん水事業関連図



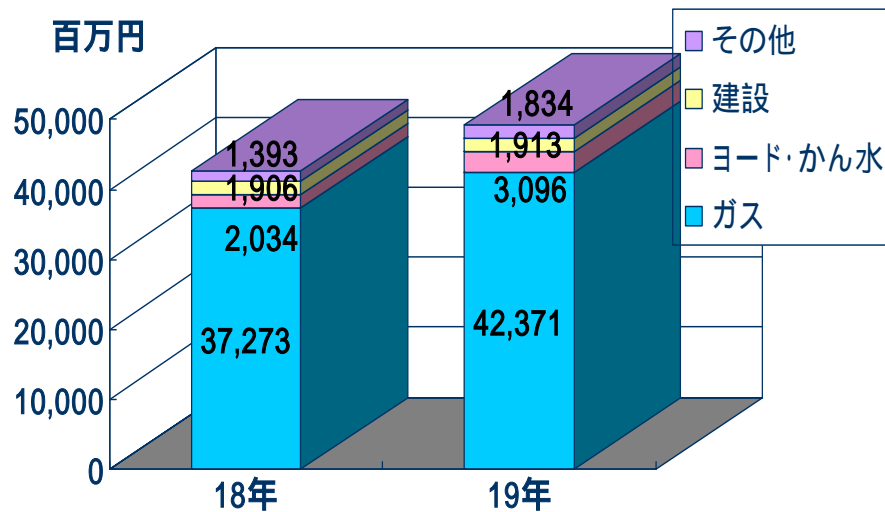
平成19年決算



単位:百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
18年(2006)	42,608	3,606	4,257	2,365
19年(2007)	49,216	3,646	4,776	2,278
対前年比(%)	15.5	1.1	12.2	3.7

セグメント別売上高(対前年)



単位: 百万円

	18年(2006)	19年(2007)	比較増減
ガス	37,273	42,371	5,097
ヨード・かん水	2,034	3,096	1,062
建設	1,906	1,913	6
その他	1,393	1,834	441
合計	42,608	49,216	6,608

主な変動要因

ガス事業 大幅増

- ・大口需要の増加
- ・輸入エネルギー価格の影響による販売価格の一部上昇

ヨード・かん水事業 大幅増

- ・日本天然ガス連結子会社化の影響
- ・旺盛な需要による販売価格の上昇
- ・為替: H19実績116円/\$ (前年実績115円/\$)

建設事業

- ・厳しい環境のなか、受注獲得に努める

その他の事業

- ・連結子会社増加の影響
- ・大型物件向け空調機器の販売増

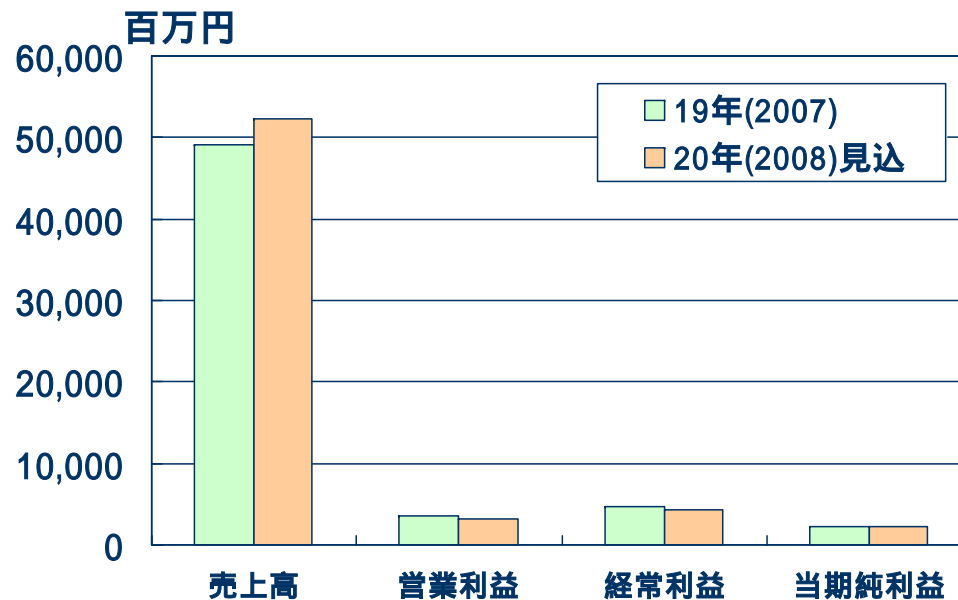
貸借対照表内訳

- ・連結子会社増加が全般的に影響
- ・資産：機械装置及び運搬具や受取手形及び売掛金の増加
- ・負債：短期借入金や繰延税金負債の増加
- ・純資産：利益剰余金や少数株主持分の増加

単位：百万円

	18年(2006) 12月	19年(2007) 12月	増減額	うち新規連結 影響額		18年(2006) 12月	19年(2007) 12月	増減額	うち新規連結 影響額
流動資産	18,684	20,123	1,438	(1,656)	流動負債	10,139	10,001	138	(936)
					固定負債	7,332	8,304	971	(1,312)
					負債合計	17,472	18,306	833	(2,248)
固定資産	55,570	58,974	3,403	(3,786)	株主資本	46,825	49,359	2,533	(1,070)
					資本金	7,902	7,902	-	
					資本剰余金	8,262	8,261	0	
					利益剰余金	35,800	39,532	3,731	
					自己株式	5,139	6,336	1,197	
					評価・換算差額等	3,143	1,904	1,238	(276)
					少数株主持分	6,813	9,527	2,713	(2,401)
純資産合計	56,782	60,790	4,008	(3,194)					
資産合計	74,255	79,097	4,842	(5,443)	負債純資産合計	74,255	79,097	4,842	(5,443)

平成20年収支見込



売上高 増加

- ・ガス・大口需要の増加、家庭用の堅調な需要
- ・ヨード・かん水・旺盛な需要による価格上昇

経常利益 減少

- ・ガス仕入費用の増加
- ・税制改正による減価償却制度の変更

当期純利益 若干減少

- ・固定資産除却損は減少

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
19年(2007)	49,216	3,646	4,776	2,278
20年(2008)見込	52,300	3,200	4,300	2,200
対前年比(%)	6.3	12.2	10.0	3.5

セグメント別売上(対当期)

単位：百万円

	19年 (2007)	20年見込 (2008)	比較増減
ガス	42,371	46,000	3,628
ヨード・かん水	3,096	3,300	203
建設	1,913	1,400	513
その他	1,834	1,600	234
合計	49,216	52,300	3,083

主な変動要因

ガス事業 増加

- ・大口需要の増加
- ・家庭用需要の堅調な推移(H19は暖冬)

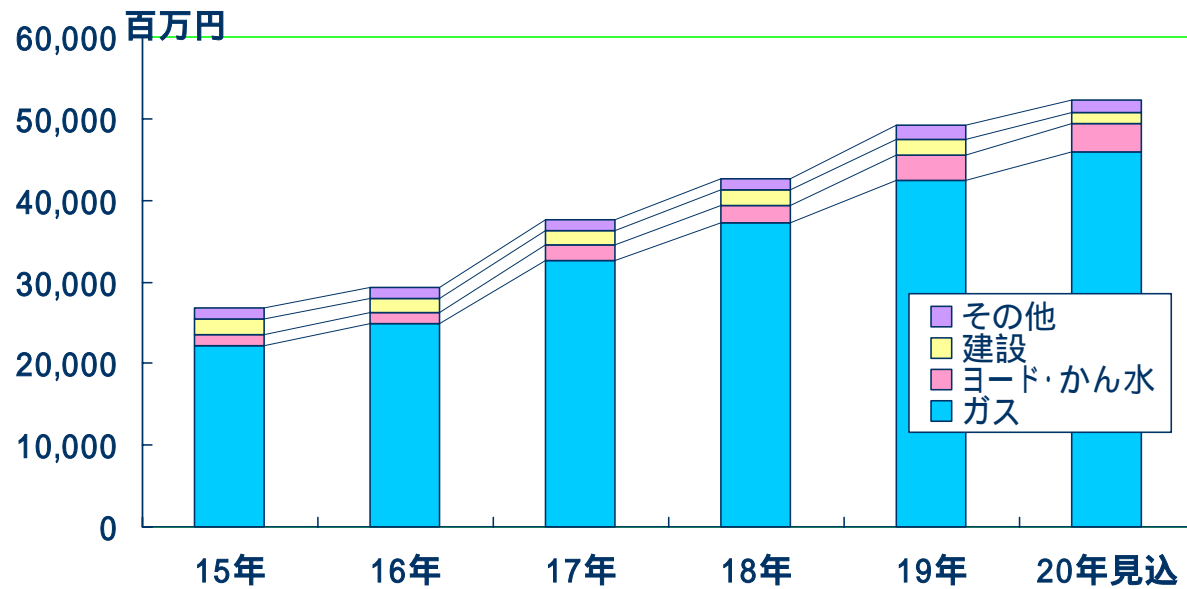
ヨード・かん水事業 増加

- ・旺盛な需要による販売価格の上昇

建設事業、その他の事業 減少

- ・厳しい環境

売上高の推移



単位:百万円

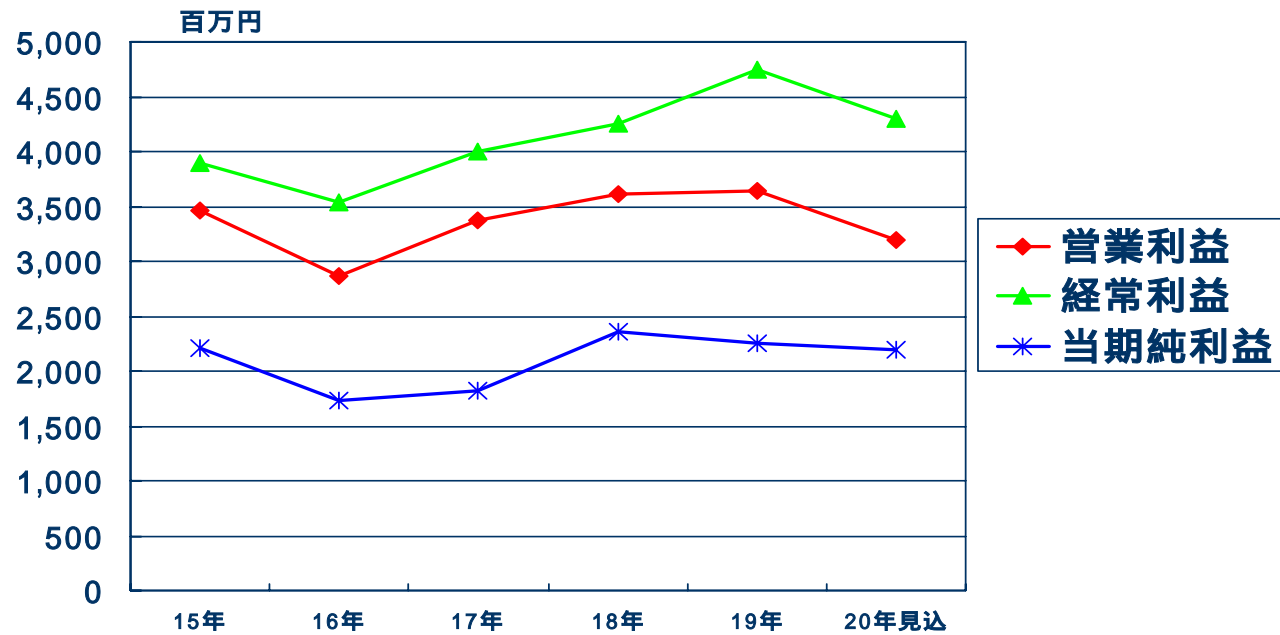
区 分		第142期 15年(2003)	第143期 16年(2004)	第144期 17年(2005)	第145期 18年(2006)	第146期 19年(2007)	第147期 20年(2008) 見込
売上高	ガス	22,152	24,868	32,691	37,273	42,371	46,000
	ヨード・かん水	1,367	1,426	1,755	2,034	3,096	3,300
	建設	1,910	1,676	1,919	1,906	1,913	1,400
	その他	1,433	1,409	1,267	1,393	1,834	1,600
	合計	26,863	29,381	37,633	42,608	49,216	52,300

生産量・販売量の推移

区 分		第142期 15年 (2003)	第143期 16年 (2004)	第144期 17年 (2005)	第145期 18年 (2006)	第146期 19年 (2007)	第147期 20年見込 (2008)
ガス	生産量(千m ³)	172,624	172,244	181,542	185,492	205,896	222,540
	販売量(千m ³)	407,104	546,050	784,741	812,663	913,187	965,990
ヨード	生産量(t)	743	630	403	402	965	1,200
	販売量(t)	934	896	947	968	1,323	1,360

平成19年度中に日本天然ガス㈱を連結子会社化したため、それ以前に比べヨードの生産量・販売量が大幅増
 ガスは39MJ/m³換算

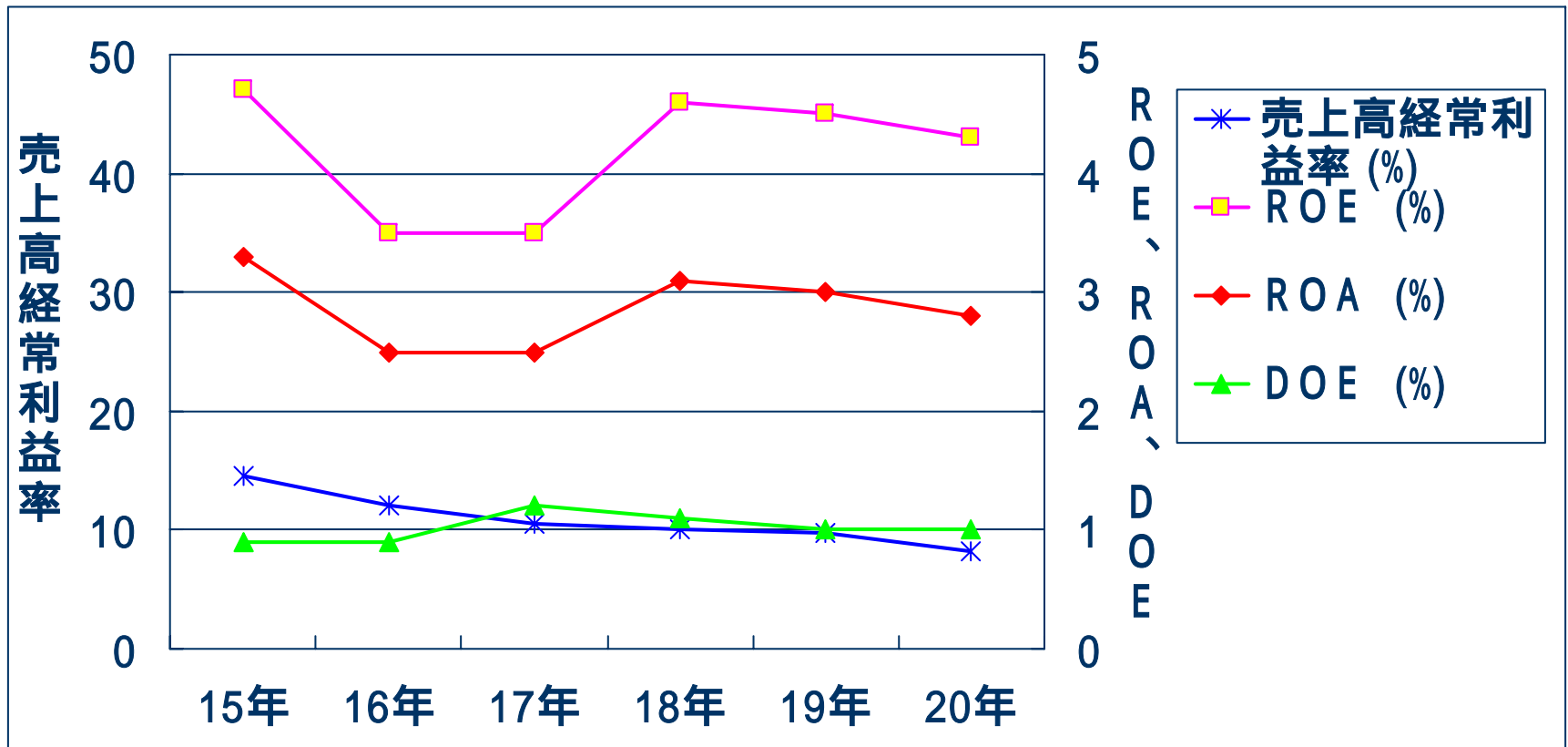
利益の推移



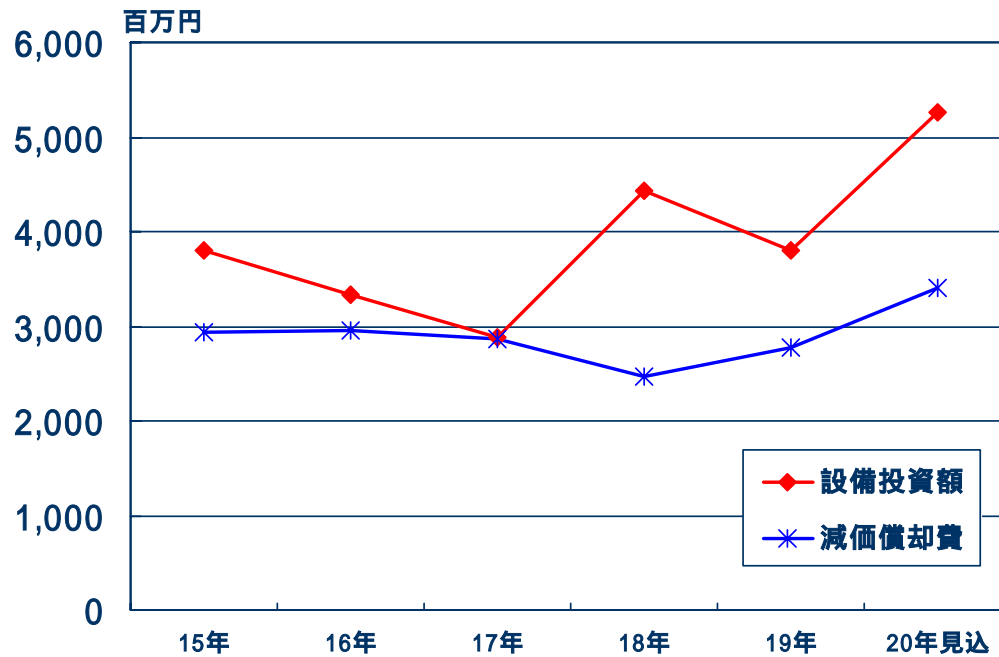
単位: 百万円

区 分	第142期 15年 (2003)	第143期 16年 (2004)	第144期 17年 (2005)	第145期 18年 (2006)	第146期 19年 (2007)	第147期 20年見込 (2008)
営業利益	3,459	2,871	3,377	3,606	3,646	3,200
経常利益	3,896	3,530	3,995	4,257	4,776	4,300
当期純利益	2,209	1,732	1,816	2,365	2,278	2,200

指標の推移



設備投資・減価償却費の推移



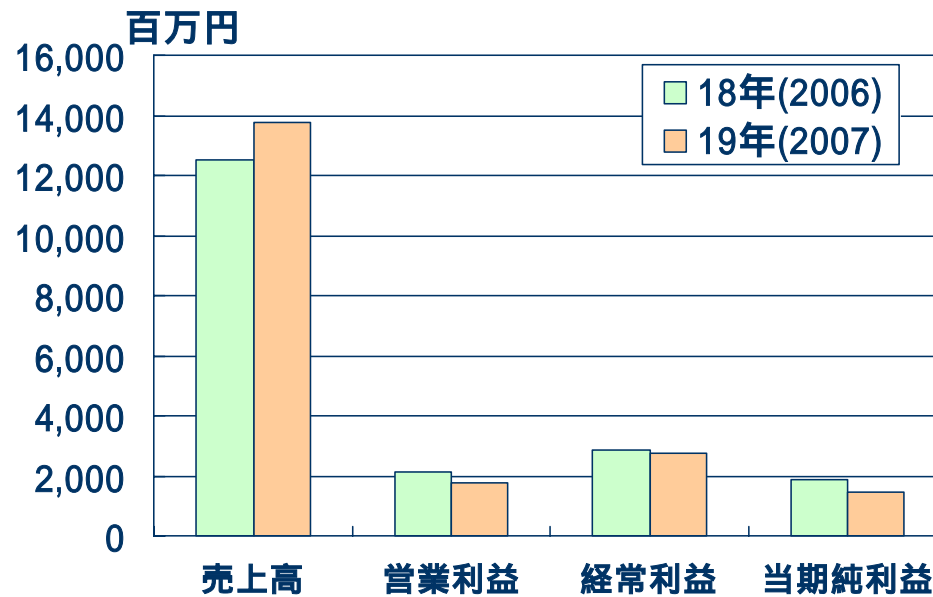
主な設備投資予定
 ガス井戸掘削計画
 ・生産井:4坑完成予定
 ・還元井:2坑完成予定

パイプラインの敷設工事

単位:百万円

区 分	第142期 15年 (2003)	第143期 16年 (2004)	第144期 17年 (2005)	第145期 18年 (2006)	第146期 19年 (2007)	第147期 20年見込 (2008)
設備投資額	3,800	3,335	2,875	4,440	3,799	5,260
減価償却費	2,941	2,959	2,870	2,476	2,778	3,410

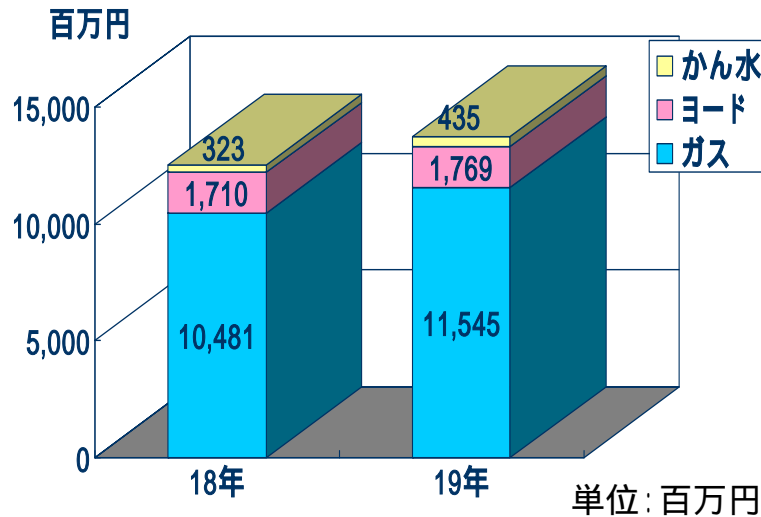
平成19年決算 < 個別 >



単位: 百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
18年(2006)	12,515	2,130	2,876	1,880
19年(2007)	13,750	1,760	2,751	1,426
対前年比 (%)	9.9	17.3	4.4	24.1

部門別売上高 < 個別 >



主な変動要因

ガス 増加

- ・都市ガス向けを中心とした販売量の増加

ヨード 増加

- ・販売量はほぼ前期並も旺盛な需要を受け販売価格上昇
- ・為替: H19実績116円/ \$ (前年実績115円/ \$)

かん水 増加

- ・ヨード価格上昇の影響による販売価格の上昇

	18年 (2006)	19年 (2007)	比較増減
ガス	10,481	11,545	1,064
ヨード	1,710	1,769	58
かん水	323	435	111
合計	12,515	13,750	1,235

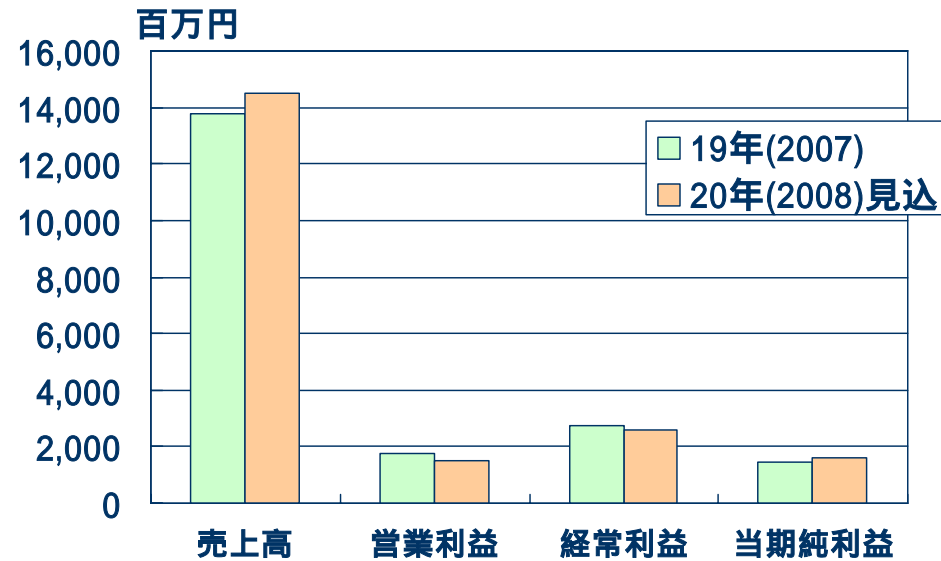
貸借対照表内訳 < 個別 >

- ・資 産: 固定資産: 投資その他の資産・・評価差額計上額の減少等
- ・負 債: 未払金の減少等
- ・純資産: 当期純利益の計上による利益剰余金の増加

単位: 百万円

	18年(2006) 12月	19年(2007) 12月	増減額		18年(2006) 12月	19年(2007) 12月	増減額
流動資産	8,973	8,397	575	流動負債	4,015	3,153	862
				固定負債	4,867	4,571	295
				負債合計	8,882	7,724	1,158
固定資産	41,056	40,460	596	株主資本	38,514	39,383	868
				資本金	7,902	7,902	-
				資本剰余金	8,240	8,240	0
				利益剰余金	27,508	28,395	886
				自己株式	5,136	5,154	17
有形固定資産	14,120	14,284	164	評価・換算差額等	2,633	1,750	882
無形固定資産	647	761	113	純資産合計	41,147	41,133	14
投資その他の資産	26,288	25,414	873	負債純資産合計	50,030	48,858	1,172
資産合計	50,030	48,858	1,172				

平成20年収支見込 < 個別 >



単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
19年(2007)	13,750	1,760	2,751	1,426
20年(2008)見込	14,500	1,550	2,600	1,600
対前年比(%)	5.5	11.9	5.5	12.2

部門別売上予想 < 個別 >

単位：百万円

	19年 (2007)	20年見込 (2008)	比較増減
ガス	11,545	12,400	854
ヨード	1,769	1,700	69
かん水	435	400	35
合計	13,750	14,500	749

主な変動要因

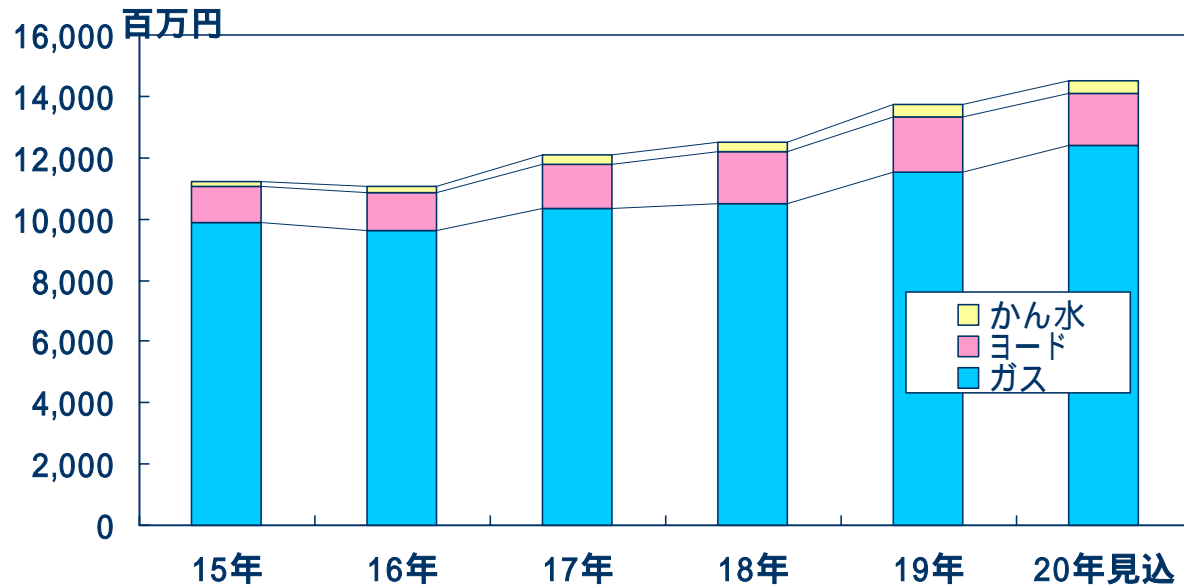
ガス 増加

- ・都市ガス向けを中心とした需要の増加

ヨード 若干減少

- ・好調な市況を受け販売価格は上昇を見込むが、販売量は減少
為替見通し：115円/\$
(H19実績：116円/\$)

売上高の推移 < 個別 >



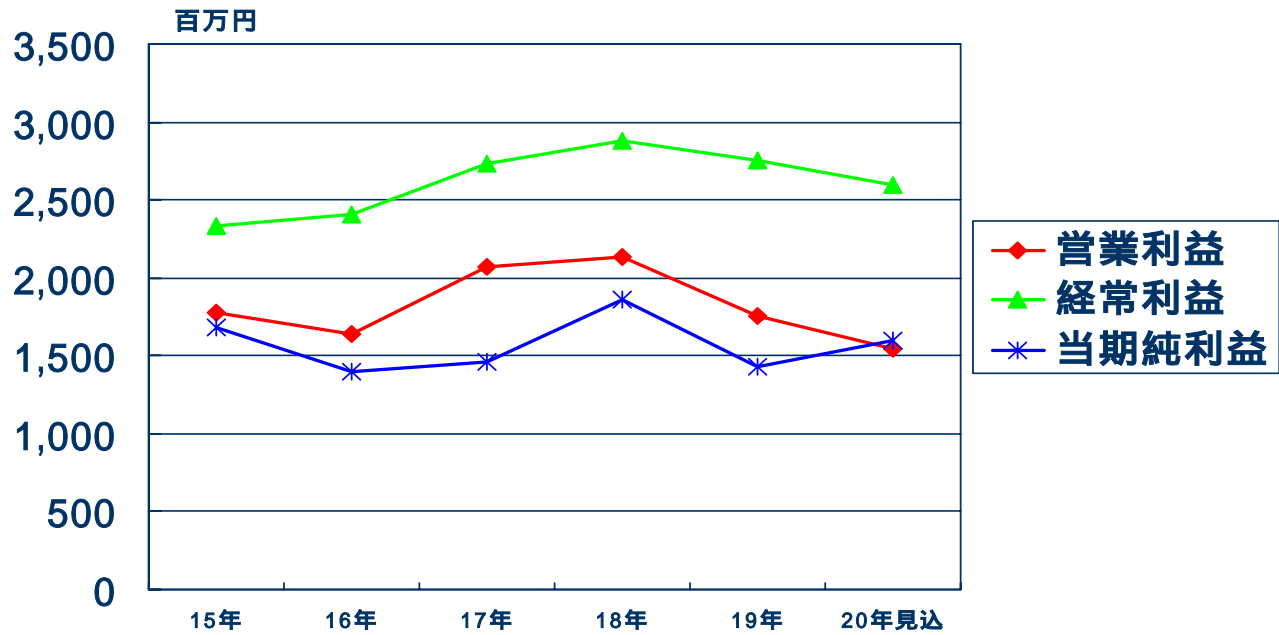
区 分		第142期 15年 (2003)	第143期 16年 (2004)	第144期 17年 (2005)	第145期 18年 (2006)	第146期 19年 (2007)	第147期 20年見込 (2008)
売上高	ガス	9,854	9,629	10,323	10,481	11,545	12,400
	ヨード	1,215	1,223	1,452	1,710	1,769	1,700
	かん水	152	202	302	323	435	400
	合計	11,221	11,055	12,078	12,515	13,750	14,500

生産量・販売量の推移 < 個別 >

区 分		第142期 15年 (2003)	第143期 16年 (2004)	第144期 17年 (2005)	第145期 18年 (2006)	第146期 19年 (2007)	第147期 20年見込 (2008)
ガス	生産量(千m ³)	172,624	172,244	181,542	185,492	181,272	188,870
	販売量(千m ³)	278,731	276,100	289,640	290,272	314,743	328,240
ヨード	生産量(t)	743	630	403	402	358	360
	販売量(t)	934	896	947	968	952	880
かん水	生産量(千kl)	15,241	15,654	16,218	16,282	15,731	15,850
	販売量(千kl)	6,246	8,059	10,995	10,805	10,942	11,220

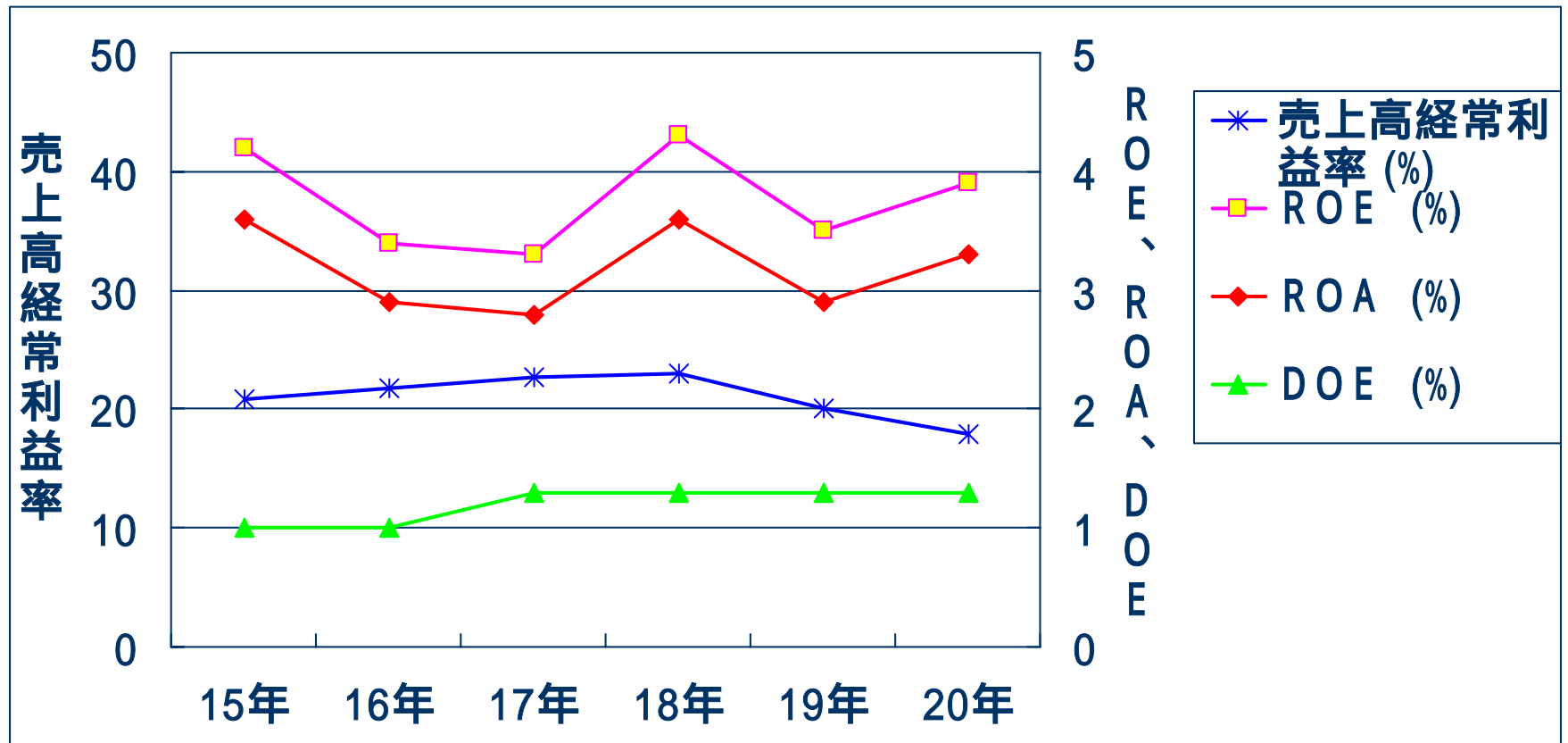
ガスは39MJ/m³換算

利益の推移 < 個別 >

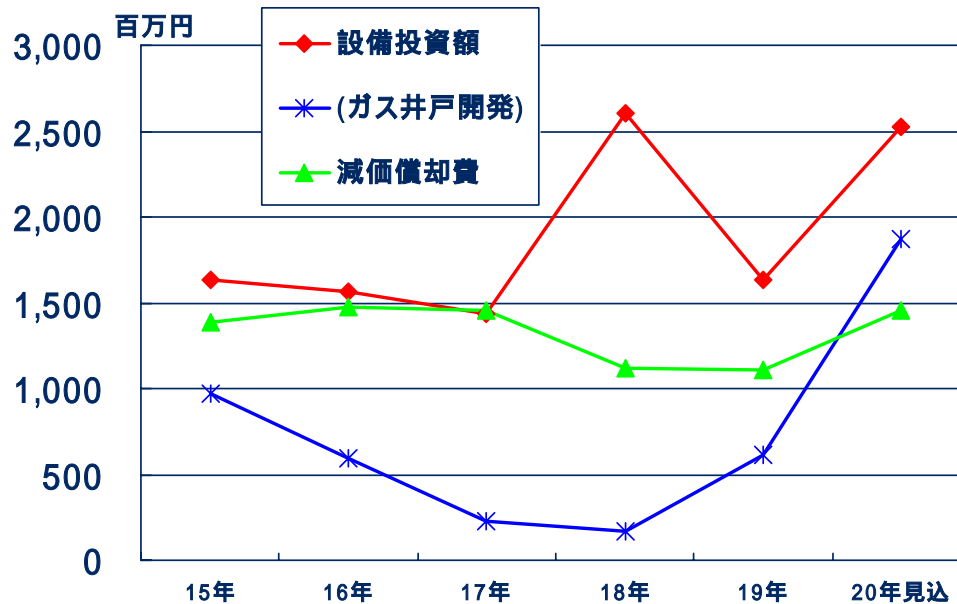


区 分	第142期 15年 (2003)	第143期 16年 (2004)	第144期 17年 (2005)	第145期 18年 (2006)	第146期 19年 (2007)	第147期 20年見込 (2008)
営業利益	1,773	1,643	2,070	2,130	1,760	1,550
経常利益	2,330	2,411	2,737	2,876	2,751	2,600
当期純利益	1,679	1,397	1,461	1,880	1,426	1,600

指標の推移 < 個別 >



設備投資・減価償却費の推移 < 個別 >



主な設備投資予定
 ガス井戸掘削計画
 ・生産井: 4坑完成予定
 ・還元井: 1坑完成予定

パイプラインの敷設工事

単位: 百万円

区分	第142期 15年 (2003)	第143期 16年 (2004)	第144期 17年 (2005)	第145期 18年 (2006)	第146期 19年 (2007)	第147期 20年見込 (2008)
設備投資額	1,632	1,569	1,436	2,603	1,630	2,520
(ガス井戸開発)	974	597	223	168	615	1,870
減価償却費	1,382	1,471	1,455	1,114	1,106	1,450



本日の説明は以上です
お越しいただきありがとうございました



関東天然瓦斯開発株式会社
Kanto Natural Gas Development Co., Ltd.